令和８年度　文京区立金富小学校　授業改善推進プラン

第３学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	【知識・技能】 ・１学期の達成率は59.5%であった。書くことに主体的に取り組む児童は多いものの、中学年になって漢字の画数や読み方が複雑になり、定着に課題が見られる児童が多い。 ・語彙の少なさや文法の理解に自分の考えをわかりやすくまとめて書くことに課題が見られる。	・漢字の小テストを定期的に実施し、間違えた字を中心に復習を行ったり、既習の漢字を使って文章を書く活動を増やしたりしていく。 ・授業で国語辞典を活用し、言葉の正しい意味を捉えたり、似た意味の言葉を探したりする活動を増やしていく。 ・主語、述語、修飾語、接続語、指示語を意識して読み取ったり、それらを正しく使って日記などを書いたりする活動を多く取り入れていく。
社会	【思考・判断・表現】 １学期の達成率は51.9%であった。授業内で積極的に文京区の様子や工場の仕事について調べていた。その反面、テストの際には、学習したことを応用して答えるのに苦戦している児童が多くいた。	・地図や資料を読み取る際の視点を指導し、問題に対して正確に答えることができるようにしていく。 ・自分の考えを相手に正確に伝えるために、授業の中で、学習したことに対する自分の考えを、文章でわかりやすく表現する活動を多く取り入れていく。
算数	【思考・判断・表現】 １学期の達成率は86.1%であり、概ねどの領域においても理解や活用ができているが、測定領域である「時間」に関して考えたり説明したりすることに課題がある児童が見られる。また、３けたの加減の立式をする問題などでもややつまずきが見られた。問題の設定場面などを把握し、立式することを苦手とする児童が多い。	・授業では「時間」に限らず抽象的な概念について、一人一台端末のデジタル教材や数直線などを用いて具体的で視覚的なイメージをもち、理解が深まるようにしていく。 ・図や表や文章やパソコンを活用しながら操作活動を行うなど、考えを表現するための方法を複数提示し、自分に合ったやり方で進める学習方法を取り入れる。
理科	【思考・判断・表現】 １学期の達成率は74.7%であった。観察や実験は積極的に取り組む児童が多かった。しかし、自ら疑問を見い出して解決しようとする力や考察を書く力に課題が見られた。	・始めの予想と結果のずれから新たな課題を見いだすことを大切にし、予想と理由をセットで書くよう指導していく。 ・考察の書き方については、例文を参考にしながら自力で書くことができるような支援を行っていく。
音楽	【知識・技能】 歌唱や器楽の演奏時、正しい姿勢や演奏方法が身についていない児童が多い。	演奏姿勢が定着している児童を称賛し、そのよさを学級全体に広めていく。

図画工作	【知識・技能】 図工室環境での授業が始まったが、環境に合わせて金槌など新しい道具や用具を安全に使うことができていた。今後は、さらに自分のイメージに合わせて工夫して使うことができる力を高めさせたい。	新しい用具や道具の学習の時は、その効果や良さを十分に味わうことができるような発問や師範を行う。また、表したいことに合わせて使ったり選んだりすることができるように指導を工夫する。
体育	【思考・判断・表現】 1学期は、運動会の表現運動に自分のめあてを立てて取り組んだ。具体的なめあてを立てている児童が少なく、伸ばしていくべき課題を見つけることが不十分であった。	・自分の課題や目標を具体的に立て、課題に対してどのように解決していくかを振り返る活動を増やしていく。 ・必要に応じてICT機器を使い、自身の動きを撮影して正しい動作の仕方を確認する学習を取り入れていく。